

## 第 70 号

発行所 〒157-8560  
東京都世田谷区成城1-13-1  
東京都市大学附属中学校・高等学校内  
電話 03-3415-0104  
発行責任者 安藤 友二  
編集責任者 川鍋 勝弘



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉  
<http://tcu-kasiwa.org/>



# 「自主」の精神を体現するキャリアスタディ



進路部 佐藤 康人

本校のキャリアスタディの取り組みも、今年度で11年目を迎えました。小泉達雄委員長をはじめ同窓会の皆さまには、長年にわたってご指導、ご協力を頂き、心より

御礼を申し上げます。

学校側(進路部)と同窓会(キャリアスタディ委員会)をつなぐ窓口役を務めて感じたことは、コーディネーターの皆さまが本校の校訓にある「自主」(ボランティア)の精神を体現してキャリアスタディに取り組んでおられる、ということです。

ご自身の貴重な時間を割いてキャリアスタディのプログラムに協力して頂いているのですが、これは熱意と誠意がないと続かないことです。同窓生の皆さまの「自主」と「熱誠」の想いが、本校の伝統校としての揺るぎない地位を形づくっているのだ、と強く感じました。

企業研修の意義について小泉達雄委員長は、「研修先でうまく質問できない生徒、感想が言えない生徒がいる。でも、大人社会の中で自分の声を出そうとすることが新鮮な経験なんだよね。」と仰っていました。生徒の成長のペースに合わせて見守ろうとする温かい眼差しが感じられ、同窓生の皆さまならではの視点だと感銘を受けました。

教師や保護者は「研修先の企業に失礼がないよう、失敗がないよう。」と意識する余り、生徒たちにあれこれ指導をし過ぎてしまいます。また、うまく受け答えできなかったりすると、ついつい「ダメ出し」をしてしまいます。

しかし「ちょっと歳をとったお兄さん」的存在の同窓生の方のアプローチが加わると、生徒たちは私どもの予想以上に生き生きと活動します。こうした経験の場があることも、本校の教育の「厚み」に繋がっていると確信いたしました。

今後とも本校のキャリアスタディの取り組みにご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



進路部・高校フットサル部・理科(化学)

三橋 祐弥

今年度、キャリアスタディの担当者として1年間携わらせていただきましたが、改めてこのプログラムが本当に良い取り組みだと感じました。現代の子どもたちを取り巻く環境は常に変化しており、数年前までは、学校、家庭、地域の3つが連携して教育を行うという考え方でしたが、近年は地域との連携がとりづらくなってきてしまいました。そのような中で、コーディネーターの先輩方を中心に様々な企業の方々と協力して生徒たちに成長の機会を与えられたのはとても貴重だったと思います。

生徒たちも、道徳の授業や実際に社会人の方々にお話をしていただいた業あり先生は真剣に聴いている様子がかがえました。しかし、まだまだ中学生。休み時間には廊下を全速力で駆けまわったりしています。そんな彼らが夏休み中に教員や親の手を離れて自分たちだけで企業に赴き、研修を受けるとなると、正直ちゃんと挨拶はできたのか、ご迷惑をおかけしていないかとヒヤヒヤしながら学校で待機していました。研修後、企業の方とお電話で多くの方から頑張っていましたよという報告をいただき、電話越しに今日も無事に終わったとホッとする毎日でした。2学期には、お世話になった企業の方々に向けてのお礼を込めて、自分たちが研修で学んだことをまとめた新聞の作成をしました。創作が好きな生徒も多く、オリジナリティのある新聞も見られコーディネーターの方にも好評でした。キャリアスタディ発表会では、全35班の中から選ばれた5つの優秀班がそれぞれ素晴らしいプレゼンを披露してくれました。とくに、最優秀班に選ばれた29班の東急建設株式会社研修班は班員全員がきちんと企業研修を通して個人の感想や意見を述べていたという点が多く、コーディネーターの方から評価されました。

プレゼンも良かったですが、代表班の発表を聞く生徒たちの姿勢も良かったと思います。それだけ今

年多くの生徒たちがこのキャリアスタディに向き合っていて取り組んでくれていたと感じました。コーディネーターの方々も彼らのこの半年間の取り組みは分かってくれており、発表会では蒲生先輩から感謝の言葉をいただきました。

キャリアスタディは、単に自分の将来を考えるだけのものではなく、プログラム全体を通して、自分を理解し、自身を大きく成長させることも大きな目的です。挨拶をすること、感謝をすること、相手の立場になって考えることの大切さを理解することができたのであれば、また一歩大きく成長できたのだと思います。物事に真剣に取り組む、努力すれば必ず何かを得ることができ、その努力は人生においてかけがえのないものになっていくと思います。

そのような機会に恵まれるということは本当に幸せなことです。このキャリアスタディがこれからもより良く発展していくことを願っています。

## 「キャリアスタディへの思うこと」

22期生 蒲生 政和



SE職を経て20年ほど前から「キャリアコンサルタント」として、理・文系大学でのキャリアデザイン科目講師、厚労省の就職支援講師に従事しており、現在の役割の軸として、厚労省主催の「高校生就職支援」のため、全国の高校に出向いております。

「キャリア・・・」という名称のイベントを実施する高校は少なく、＜進路指導＞その中で＜就職先決定＞という流れが一般的であり、採用日程の中で、「さあ、就職だ、社会人の入り口を決めなさい！」生徒にとっては、自分のこれからを進路指導に委ねざるを得ず、＜何となく、とにかく社会人に・・・＞結果的に就職後、半年を待たずに離職してしまう、こんな場面を数多く見てきました。

これに対してキャリアスタディの活動は、内面的にそろそろ親離れ・・・？を感じる中学3年生の今、自分の「これから」に意識を向け、「なつてみたい自分」を「自分で感じる」ための大きなきっかけになる素晴らしいイベントであろうと感じております。

「キャリア」という言葉の語源は「轍(わだち)」と言われております。轍は荷車などが進んだ「跡」にできるもので、前方にできるものではありません。一般的に「キャリアアップ」「キャリアを積む」などの意味合いで使われている言葉ですが、私たちキャリアコンは「過去に積み上げた経験の山」であろうと捉えております。

このような意味で、キャリアスタディの活動は、生徒一人ひとりが前を向き『これからの経験の積み方』を感じ、気づく、きっかけの一つとなり、高校生活で「こんなことに興味を持とう」さらに「こんな大学でこんなことを経験してみたい・・・」「自分のこれから」を自分で編みはじめるスタートにもなるものと思います。

とはいえ、課題も存在します。生徒のそれぞれの異なる価値観、行動特性などから、今、この時点での「自分のこれから」への捉え方も異なり、すべての生徒のスイッチが入ることはありません。見学したい企業を選ぶ際、自分が興味を持てる企業がない学校行事だからという生徒も存在します。

そのうち、いつの日か、キャリアスタディのことを思い出して欲しい・・・という思いもあり、生徒とのコミュニケーションを深め、より多くの業界・業種の企業の協力をいただき、生徒の選択肢を拡大していくなどに取り組む一方で。キャリアコンである私としては、キャリアスタディを経験した生徒が、将来、「こんな人たちにこんなものを届けたい・・・」などと感じて「自分の進む道を決めてもらえたら・・・」を念じながら、支援を続けていきたいと思っております。

業あり先生 蒲生政和氏



直前集会



## 《公示》 同窓会総会・懇親会開催案内

第45回同窓会総会及び懇親会を下記の要領で開催いたします。

同窓会会員 [1. 正会員:(1) 武蔵工業大学附属中学校・高等学校及び東京都市大学附属中学校・高等学校の卒業生で入会を意思表示した者 (2) 同校に在学した者で本会の趣旨に賛同するもの  
2. 賛助員:(1) 武蔵工業大学附属中学校・高等学校及び東京都市大学附属中学校・高等学校の現旧教職員 (2) 本会の趣旨に賛同し理事会の承認を得た者(東京都市大学附属中学校・高等学校同窓会規約より)] の皆様はお誘い合わせの上ご参加下さい。

総会後の懇親会では、成人の祝い、還暦同窓会及び同期会を実施いたします。

1. 成人の祝い [65期生(2018年3月卒業)対象]
2. 還暦同窓会 [26期生(1979年3月卒業)対象]
3. 同期会 [36期生(1989年3月卒業)対象]  
[46期生(1999年3月卒業)対象]  
[56期生(2009年3月卒業)対象]

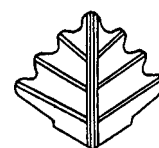
懇親会には現職の先生方及び退職した先生方にもご参加いただきますので、交流や情報交換の場としてご活用ください。

なお、成人の祝い、還暦同窓会及び同期会対象の方は事前申し込みが必要です(別途ご案内します)。

記

### 総会

日時 2020年5月23日(土) 16時より16時30分  
場所 渋谷 エクセルホテル東急 6階 フォレストルーム  
東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)  
TEL: 03-5457-0109



議題(予定)

- 1号議案 2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)活動報告
- 2号議案 2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)決算報告
- 3号議案 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)活動計画承認
- 4号議案 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)予算案承認  
キャリアスタディ報告その他



### 懇親会

日時 2020年5月23日(土) 16時45分より19時30分  
場所 渋谷 エクセルホテル東急 6階 プラネッツルーム  
東京都渋谷区道玄坂1-12-2(渋谷マークシティ内)  
TEL: 03-5457-0109

会費 6,000円/人:当日支払い。  
(成人の祝い、還暦同窓会及び同期会対象者は別途案内の金額を事前振り込み)



渋谷マークシティ(渋谷 エクセルホテル東急)

## 中学野球部OB会

山本 孝哉



2019年10月 第4回 野球



ここ二、三年同窓会がとても多い。卒業して三十年過ぎたとか、還暦を迎えたとか節目の齢をきっかけとしているようである。もちろんそんな事と関係なく毎年決まった時期に開いている学年もある。

私が武蔵工業大学付属(以後ムサコーと表示)に勤めたのが1967年(昭42)であり、体育の熊野先生・桜庭先生と同期である。65歳の定年まで勤め、その間、中学6回、高校6回の担任を経験した。定年を迎えた2009年(平21)がムサコー最後の年であり、この年の4月から校名が東京都市大学付属となった。私にとっては、まさにムサコーで始まりムサコーで終わった教師生涯であった。

クラブ活動の顧問は、最初の4年間は卓球部で、当時、中学野球部の顧問は菊池先生と水谷先生であったが、水谷先生のご都合で私に変わったのである。その時、野球部のキャップテンをしていたのが、映画監督として活躍している周防正行氏でピッチャーで4番で現在も草野球チームの投手である。(彼は新校舎ができて、グラウンドが人工芝になった時に、たびたび生徒と一緒に練習をした。)その後、菊池先生が教頭となり、代わりに草間先生、さらに和田先生が顧問となる。私は40年ほど中学野球部の顧問をしたが、部長であり、練習も初心者に対しての指導がメインであり、ノックも外野中心であった。

一つ残念だったことは、世田谷大会で優勝して都大会へ行ったことが6~7回?あったが初戦を突破することができなかったことが、心残りである。その後、石嶋先生が顧問となり、現在に至っている。

さて、私がOB会に参加したのは、2018年の第2回からであった。試験前で生徒がグラウンドを使用できない時にOBを二組に分けて試合を行った。昭和組と若手の平成組とに分かれ、石嶋先生は若手組に入り、なごやかに野次がとびかい7回くらいまでで、体力に勝る若手組の勝利であった。しかし、なかなかいい勝負でロートル組もよく動いていた印象である。その姿は成城の居酒屋での懇親会で、皆、昔にかえり思い出話に花が咲いた。



2018年10月 第2回 野球



2019年5月 第3回 野球



2019年5月  
第3回  
飲み会

2019年10月  
第4回  
飲み会



第3回、4回と昨年の5月と10月に行われ、上は33期から下は66期まで幅広い年代が集まり、それをまとめる幹事が35期の川鍋勝弘氏で、毎回お骨折いただいている。草間教頭にはグラウンドの手配などご苦勞をおかけしている。始球式に投げるように勧められ、なんとかキャッチャーまではまだ届いたので一安心で、やんやの喝采であった。

このOB会の良さは、皆、昔にかえって楽しく話し、学生時代を思い出し青春時代にかえることができることである。今後、さらに幅広くOBが集まり、ますます交流が深まればと思っている。